

昭和61年度

可変幅形除雪グレーダ

〈2枚式ワイドブレード4.0~6.0m〉



建設省北陸地方建設局

開発導入の目的

バイパス、現道拡巾等、幹線道路の整備に伴い多車線化が進み、その延長も年々増加している。また、高規格幹線道路網の整備拡充計画に基づき、今後ますます、多車線道路の延伸が想定される。

多車線道路の除雪工法として、経済的に、かつ効率良く行うには、従来から雁行作業で幅員の確保が行われていたが、路線の延伸に合せ機械台数を増加することは、社会情勢、オペレータ確保等の諸問題もあり、機械台数を極力抑え、効率良く施工する必要がある。

その対策の一手法として、1台当りの機械の除雪巾を大きくして、一編成当り台数を減ずる方法として、可変巾形の2枚式ワイドブレード除雪グレーダを開発・導入したものである。

機械の特徴

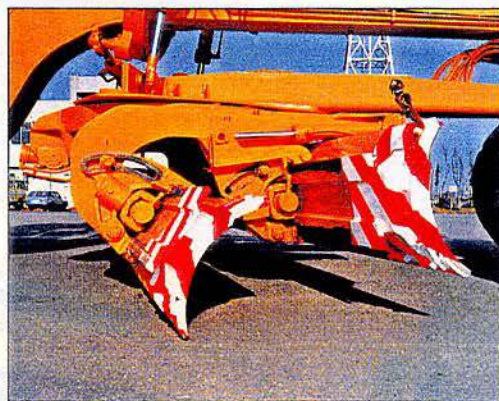
- (1) 作業条件に合わせて、ブレード除雪幅が可変できる。

除雪幅 <推進角90°>……4.0～6.0m
<推進角60°>……3.47～4.75m

- (2) 操作は全てワンマンコントロール。

- (3) 一車線ワンパスの除雪能力。

- (4) ブレードは左右同時スライドも、片側ずつの横送りも、それぞれ可能。



- (5) 圧雪処理は、第1ブレードを持ち上げ従来通りの1枚ブレードで、拡幅時2枚ブレード併用による複合操作可能。

- (6) 2枚のブレード共パワーチルト付で、切削角を容易にかえる事が出来、多様な雪質に応じた作業が可能。

推進角	可変幅形ブレード装着車 (2枚ブレード)				在 来 車
	ブレードシフトシリンダ位置標準		ブレードシフトシリンダ位置調整		
	左 流 し	右 流 し	左 流 し	右 流 し	
90°					
60°					

《作業写真》



路面整正 単独作業



路面整正 除雪トラックと雁行作業



ブレード負荷状況

《仕様概要》

※可変幅形ブレードを装着した時の概略仕様

項目		諸元		
重量・寸法	車両総重量 (kg)	19850		
	前輪荷重 (kg)	6450		
	後輪荷重 (kg)	13400		
	全長 (mm)	9185 (標識装置付9200)		
	全幅 (mm)	2480		
	ホイールベース (mm)	6450		
エンジン	定格出力 (PS/rpm)	230/2000		
	最大トルク (kgm/rpm)	92/1300		
	総排気量 (ℓ)	11.045		
構造・形式	変速機	F8・R3 ハイドロシフト		
	デフ・デフロック	標準装備		
	タンデム形式	チェーン駆動		
	主ブレーキ	湿式多板式後4輪制動・空気作動式		
	油圧形式	DDVパイロットチェックバルブ付		
ブレード	ブレード	第1ブレード	第2ブレード	
	ブレード寸法 (mm)	4010×620×19 (2枚)		
	最大ブレードベース (mm)	2170	3250	
	最大ブレード荷重 (kg)	9720	13000	
	最大ブレード線圧 (kg/m)	2420	3240	
	切削角度 (度)	26.0 ~ 64.0	28.5 ~ 86.5	
	除雪幅	推進角90° (mm)	MAX 6000	
		推進角60° (mm)	MAX 4750	

《三面図》

